

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の顔色が良くなり、客単価も少し上がっている。
	やや良くなっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・景気対策として的高速道路料金引下げは、遠距離からのマイカー観光客を増やすという効果を着実に上げている。しかし鉄道やフェリーは大きく客を減らし、経営悪化を招いている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・伊勢神宮が遷宮関連行事やパワースポットブームで注目され、観光客が増えている。そのため、来客数も増えている。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・今月は天候、気温共に例年並みに落ち着いてきており、来客数はゴールデンウィークを中心に多くなっている。開店3周年セールを行ったところ、予想に近い売上を確保できている。徐々にではあるが、客の購買意欲は出てきている。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・来客数の底上げと共に、売上も増加してきている。前年は新型インフルエンザの流行により来客数が落ち込んだ反動もあって、来客数の前年比が高くなっていることもあるが、消費意欲を伴っての来店、すなわち購買率の高い来店は着実に増加している。勢いがあり好調であったゴールデンウィークの後も、想定したほどの落ち込みはなく、安定して高水準の売上を維持できている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平日昼間の来客数は相変わらず少ないが、夕方になると会社帰りの客が増加し、売上の予算目標を達成することもある。高級品ではなく、安価品が数多く売れている。購買意欲は少し戻ってきている。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・3月から引き続き、来客数は前年を上回っている。また、客の買上率も堅調であり、どの商品群の売上も好調に推移している。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・定価品の売上点数が前年実績を上回ることが、常態化してきている。ただし、セールや催事場での売上は厳しい。前年は、価格を決めた上で、し好に合う商品が選ばれていた。今年は、まず品質とし好があって、価格は価値に見合っていれば良いという動きに変化している。最初に価格ありきではない動きが顕著になっている。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・平日やゴールデンウィーク以降の来店状況には、かなり厳しい様子が見受けられる。しかし、ゴールデンウィークを含む月上旬に関しては、来客数や購入状況に回復の傾向が感じられた。イベントスペースを利用した催事や店内各店の売上は好調に推移しており、売場全体では対予算目標、前年実績共にクリアしている。
		百貨店（販売担当）	単価の動き	・依然として厳しい状態は続いているものの、少しずつ高額商品やセット購入が増えてきており、明るさも出て来ている。ダイヤの鑑定書問題が発覚し、使用していたブランドにも少なからずあった様子であるが、そのことによるダメージはさほど感じない。
		スーパー（店長）	それ以外	・新製品や話題商品の動きが非常に良い。財布のひもを緩くする商品が増えてきている。このことから、客の家計状況も回復してきていることがうかがえる。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上は相変わらず前年を下回っているが、3か月前と比べれば2%ほど回復している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月は例年に比べて販売量が伸びている。補助金効果が、その要因として挙げられる。来客数も増えている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の購入補助金は9月が期限であるため、客の動きは活発になってきている。来客数が増えており、成約率も上昇している。他社との競合も多いため収益的には厳しいが、ここ数年のなかで、5月としては最高に近い受注率である。	
	観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・企業、団体の動きは相変わらず思わしくないが、個人の利用に関しては、満足するほどではなくても、そこそこ安定している。	

	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・宿泊客数は、前年同月比で10%以上上昇している。
	都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・取引先を集めての方針発表会、親睦会等の宴会は、製造業を中心にこれまで自粛されていたが、回復しつつある。今後も期待できそうな雰囲気を感じられる。
	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・年末年始、春休み、ゴールデンウィークと、休み毎に徐々に明るさが見られる。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク明け以降、住宅購入の動きが見られる。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・来客数は、下げ止まった感がある。増加もしていないが、購入意欲の高い客が来場し始めている。大手自動車メーカーが黒字化し、3、4月期の家電関連やその他の業種でも、そこそこ回復していると聞いている。
変わらない	商店街(代表者)	来客数の動き	・今月は来客数が極端に少なく、販売量、販売高共に伸びていない。特に15日以降は、本当に来客数が減少している。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中は好天にも恵まれて来客数、販売量共に好調であった。ただし、客単価は依然として低い。連休明けは、前年並みに推移している。
	商店街(代表者)	単価の動き	・客からは、廃業の話題をよく耳にする。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・コンスタントに発注があった客でさえ、注文数が減ってきている。問い合わせを受けたり、見積をしても、ほぼすべてが受注に至らないというひどい状況が続いている。
	一般小売店[薬局](経営者)	来客数の動き	・天候不順とゴールデンウィークにより、来客数は極端に減っている。地方都市では、天候や祝祭日によって大きな影響を受ける。
	一般小売店[生花](経営者)	販売量の動き	・今年の母の日はゴールデンウィークのすぐ後だったため、出足は遅かったものの、まずまずの来客数があり、販売量もほぼ前年並みである。単価は低めであるが、母の日は健在であると実感している。
	一般小売店[酒類](経営者)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明けの飲食店への客の動きは、前年同様に厳しい状況にある。来店しても節約傾向は続いているため、酒類の売上は伸びていない。
	一般小売店[時計](経営者)	来客数の動き	・相変わらず客単価が低い。
	一般小売店[書店](経営者)	販売量の動き	・今月前半は前月並みの動きであったが、半ばから後半にかけては、天候不順等のためか急に悪化している。
	一般小売店[自然食品](経営者)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明けから来客数、販売量共に減っており、5月の売上は通常の2割減になる見込みである。なぜか一気に冷え込んでしまっている。
	一般小売店[惣菜](店長)	来客数の動き	・ここ2~3か月はやや堅調であった店の売上も、今月は今一つである。ゴールデンウィークまではそれなりに多かった来客数も、その後は少なくなってきた。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・天候不順のため、例年は半袖、Tシャツの売上が伸びる時期であるのに、今年は売れていない。買い控えが続いている。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・ゴールデンウィークは天候にも恵まれ、レジャー向けの商品等の売上は伸びている。ただし、財布のひもはまだ固い。
	スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は、前年同月比96%前後で推移している。ビール類は、第3のビール等が圧倒的に強い。生鮮品についても、輸入肉や特売商品の買い置きが多く、単価の改善は見られない。新製品等は、最初の動きは大変良いが、メーカーの製造が追い付かないなどのため店頭商品が不足し、売上を確保できない。
	スーパー(店長)	単価の動き	・単品単価はある程度下げ止まりしつつあるが、客単価は好転していないため、全体としては変わらない。
	スーパー(店員)	単価の動き	・必要な物しか購入しない傾向が続いている。
	スーパー(総務担当)	来客数の動き	・前年同月比で来客数は7.9%減少しており、客単価も2.65%低下している。
スーパー(営業担当)	単価の動き	・単価は、相変わらず低下したままである。また、販売点数が伸び悩んでいる。	

コンビニ（エリア担当）	それ以外	・必要な物以外は購入しない状態が続いており、売上は前年をクリアできていない。
コンビニ（店長）	単価の動き	・販売量、単価に変化は見られず、以前と変わっていない。
コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・悪天候で気温の低い日が多いため、冷麺などの夏型商材の販売は悪化しているが、弁当類など米飯類でカバーしている。厳しい状況は変わらないが、総崩れにはなっていない。
衣料品専門店（経理担当）	販売量の動き	・来客数は、前年同月比でプラスであったりマイナスであったりしているが、販売金額は引き続きマイナスが続いている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・受注実績は、前年同月比86.7%である。ただし、前年は新型ハイブリッド車一辺倒であったが、今年は色々な車種のエコカー減税対象車が購入されている。新車購入を検討している客層も広がっており、今の市場は若干ながら期待を持てる。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量の動きを中心に、大きな変化はない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の購入補助金もあり、販売台数は前年並みを維持しており、好調である。
乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・売れ始めている部分も少しはあるが、全体的には良くない。
乗用車販売店（営業担当）	競争相手の様子	・来客数は増えているが、単価は低下している。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・客はセールの実施や単価等をよく把握している。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数は、新型インフルエンザの影響とみられる落ち込みの後、回復してきている。ただし、前年同月を上回る水準までは戻っていない。
一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・来客数は、相変わらず低い水準で安定している。ゴールデンウィークは家族連れが増えるはずであるが、今年は数えるほどしかなく、家族連れ客の売上が少なくなっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは大型連休にした企業が多く、天候にも恵まれ、レジャー等に出掛けてレジャー費がかさんだと思われる。そのため、例年連休明けは静かになるものの、今月の売上は前年と比べて3割ほど減少し、月末には少し追いつけたが厳しくなっている。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数は徐々に増えているが、以前ほどの増加幅ではない。ただし、悲観するほどの状況ではない。
旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・ボーナスが出る予定の客層では、夏休みの旅行計画もある。ボーナスが出ない可能性がある客層や貯蓄する客層は、旅行予算も少ない。
旅行代理店（経営者）	競争相手の様子	・地元では、航空会社の路線縮小や地元の大手自動車メーカーのリコール問題等の影響以外に、羽田、成田への国際線就航の影響も出てきている。競争相手も含めて、旅行需要は極めて低調である。また、客の低単価志向も定着している。
旅行代理店（従業員）	それ以外	・今の時期は団体旅行が多く動く時期であるが、今年は日帰り旅行が目立って多いことが特徴である。企業に少し余裕が出てきて、福利厚生にお金を使っても良いという動きになってきているものの、まだ慎重な姿勢が見られる。
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・飛行機を使った旅行が少し多くなり、客単価は若干増加している。
タクシー運転手	来客数の動き	・相変わらず悪い状況が続いている。多少良くなったとの声も聞かれるが、大半は悪いと聞いている。繁華街の人出も、終電車に乗る人も少ない。終電車が過ぎると、客は全くいなくなる。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数はやや落ちてきているものの、新規契約数はかなり減少してきている。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月も、来客数の目標を達成できそうにない。前年よりも少し悪くなる。天候の影響も受けたが、ここしばらく前年割れが続いている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークの過ごし方を客に聞くと、近場ではあるが出掛けており、景気は悪くないはない。

	その他サービス [語学学校] (経営者)	来客数の動き	・ 上向きではないけれども、一定レベルで安定している。
	その他サービス [介護サービス] (職員)	販売量の動き	・ 主要カテゴリーの出荷量は増えておらず、伸びているのは低価格カテゴリーだけである。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・ 販売量の減少を、コストダウンを通じた販売価格の低下によって補っている。ただし今後は、鉄価格の大幅な値上がりが見込まれており、更なる苦戦を強いられそうである。景気は横ばいが続くと思われる。
	住宅販売会社 (企画担当)	お客様の様子	・ 新規の分譲住宅をオープンしたところ、来客数はあるが、契約には結び付いていない。数字的には、3か月前とあまり変わらない。
やや悪くなっている	一般小売店 [結納品] (経営者)	販売量の動き	・ ゴールデンウィーク以降、商品は動いていない。
	一般小売店 [贈答品] (経営者)	お客様の様子	・ 今は自分のために消費することが多くなっており、今月はゴールデンウィークの行楽や趣味にお金が使われたため、プレゼントや返礼の贈答品は厳しい状況である。
	コンビニ (経営者)	販売量の動き	・ ゴールデンウィーク明けの飲食店等の業務用売上の落ち込みがひどい。天候の影響もあると思うが、店によっては前年比6割ほどである。
	コンビニ (店長)	販売量の動き	・ 気温の低い日が多く、アルコール飲料の売上が増加していない。
	コンビニ (店長)	販売量の動き	・ 天候不順のため、来客数は減っている。
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・ 来客数の減少と商品単価の低迷は、依然として続いている。
	家電量販店 (店員)	販売量の動き	・ 暑くなったと思ったら涼しくなったりで、エアコンの販売も伸びそうで伸びない。テレビの販売も一服している。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・ もともと4～5月は厳しい業界であるが、それにしても、かなり落ち込んでいる。
	住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・ 公共投資物件が一段落しているが、分譲マンション、分譲住宅、賃貸マンション、新築等の民間投資物件が出てきていない。ただし、持ち家住宅は少し始めている。
	その他飲食 [仕出し] (経営者)	販売量の動き	・ 安い商品はそこそこ売れているものの、少し値段が高い商品には全く手を出さない状態が続いている。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・ 来客数が少ない。回復すると思えない動きである。
	旅行代理店 (経営者)	競争相手の様子	・ 同業他社や関連企業と話しても、前年より悪化しているという声が大半を占めている。単価が下がり、少ないお客を奪い合っている現状にある。
	タクシー運転手	来客数の動き	・ ゴールデンウィーク明けで出費を控えているため、昼間の客や夜の繁華街の客が極端に減っている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・ ゴールデンウィークの出費により、ゴールデンウィーク明けは特に夜の客が減少し、売上も減少している。
	通信会社 (サービス担当)	販売量の動き	・ 引越しシーズンが終わり、電話での問い合わせ件数が減っているため、販売量も減っている。
	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・ 客から活気が感じられない。
	観光名所 (案内係)	それ以外	・ ガス、電気、ガソリン代が値上がりしており、消費への影響がある。
	理美容室 (経営者)	来客数の動き	・ 暖かくなり例年ならば来客数は増えるはずであるが、増えていない。
美顔美容室 (経営者)	販売量の動き	・ 来客数が減り、それに比例して売上も減少している。今まで使用していた特別の化粧品をやめる客もあり、その影響もある。	
美容室 (経営者)	それ以外	・ 客層が高齢化しているため、天候不順によって客足が遠のいている。	
設計事務所 (職員)	お客様の様子	・ 客からは、景気の悪い話ばかりが聞かれる。	
悪くなっている	商店街 (代表者)	お客様の様子	・ 4月以降、テレビの売行きが極端に悪くなっている。

		百貨店（外商担当）	来客数の動き	・百貨店全体では上向きとの情報が聞かれ、前年同月の売上を上回る百貨店もある。しかし当社は、企画催事は前年を上回っているものの、全体では来客数が減り、店頭売上は2けたのマイナスと苦戦している。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・小売店では、客は全く購入せず、今までにない状況にある。
		コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・天候不順で気温が上がらず、雨も多いため、来店頻度も増えていない。関連商品の販売も、大きく低迷している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候不順のため、購入目的の来客数が少ない。
		衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・5月に入ってから、受注量は急激に減っている。夏物の追加生産は、全くかからない。気温の変化が激しすぎることもその一因である。
		その他専門店【貴金属】（店長）	お客様の様子	・消費者の節約志向は高まったままであり、一般的に売上低迷に歯止めが掛からないままで推移している。先行き不安を口にする客が、相変わらず多い。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・店は繁華街にあるが、夜11時を過ぎると人通りもなく、本当に街中かと思うくらい静かである。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・4、5月にレストランによって退職した客が複数いる。週休3日が続いている中小企業もあると聞いている。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・景気の良い話題はまだまだ聞かれない。客は出費を抑えるため、安い店に流れている。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・取引先の住宅設備機器販売会社の担当者からの意見もあるが、他社も新築住宅の着工が物件が乏しくなっているため、今期の見通しは立っていない。
企業動向関連	良くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は、前年同期比で増加している。
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量は徐々に増加しており、3～5%良くなっている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・出版物の出稿への問い合わせが、徐々にではあるが増え始めている。
		化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・ユーロ安ではあるものの、欧州での受注量は増加しつつある。
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・企業の体質が強化されて、徐々に売上を増やしてきている。新聞等で発表される業績をみても、それが裏付けされている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・客先を回っていると、ほとんどの会社で受注量が増えていると聞く。当社の受注量も増えている。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数は先月からほぼ横ばいにあるものの、受注の確実性は高く、発注までの時間も短くなってきている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・生産財の受注状況は好転しており、受注残が積み上がっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年初以降、販売量は堅調に回復中である。自動車、電機、通信のいずれの分野でも、回復基調は鮮明になっている。加えて、工作機械が初めて増加基調になっている。デバイス分野も、納期問題が出るなど繁忙が増加している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・当社では、受注はほぼ計画通りに進んでいる。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客の生産計画が改善している。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・4月と比べて、注文数は1割程度増加している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・マンション、戸建共に、来場者数と成約数が改善している。ただし、内容的にはまだ弱含みである。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製造業では新しい取り組みを開始する動きが増えており、それに伴い、輸配送の引き合いが増えている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・アジア地域の貨物が増加している。

	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年同月の売上はその3か月前比でマイナス16.8%であったのに対し、今月の売上の3か月前比はプラス15.4%と、32.2%も改善されている。ただし、前年の売上は底にあったため、今月も目に見えて良くなってきているとは思えない。低いまま落ち着いてきている。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・荷物の発送個数は、着実に伸びてきている。
	不動産業（開発担当）	競争相手の様子	・新規にモデルルームをオープンし、それなりの集客がある物件が多く見受けられる。
	企業広告制作業（経営者）	それ以外	・大卒の就職状況から判断すると、採用を若干ながら増やしている傾向にある。ただし、これは大手企業だけで、中小零細企業に関しては相変わらず厳しい状況が続いている。
	行政書士 その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量 受注量や販売量の動き	・顧問先の運輸業では、出荷量が少し上向いている。 ・3か月前が極端にひどかったため、その時期と比べれば、多少は受注が増えてきている。
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・当社の主力製品である建設機械の受注は、相変わらず低調である。ただし、発注元の話によると、下期以降は現状の約20%増の発注が可能とのことである。大幅なコストダウンの要請はされているものの、今後は期待が持てる。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・新年度に入り新規案件の受注も可能になっているが、以前と比べて単価など内容の精査が更に厳しくなっている。
	建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年契約していた取引先からの受注が減っている。毎月あったものが2か月に1回になっており、経費削減の動きが目立っている。
	輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・同業他社の話では、荷物がなく苦戦しているとのことである。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・新年度に入って2か月が経過するが、変化はあまり見られない。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・仕事量の減少により、従業員の残業や外部委託も減っている。そのしわ寄せが個人所得に影響し、消費にも大きく影響している。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・相変わらず価格競争が厳しい割には、受注件数は少ない。新年度に入ってから、低迷している。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告は、落ち込んだままで推移している。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設業者の話によると、少しずつ回復傾向にあった受注量が、また3か月前の悪い水準に戻り始めているとのことである。少し良くなっても長続きはせず、すぐに悪い状況に戻ってしまう。中小企業が回復基調を持続することは難しい。
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・ゴールデンウィーク明けから仕事が減ったという顧問先が、いくつかある。雇用調整助成金の申請も続いており、まだまだ厳しい状況にある。
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・全体的に、停滞傾向にある。1、2月と比較すると積極的な動きにはなっておらず、商談はそこそこの状態が続いている。ライバル社の仕事量も減少しており、部品会社の生産は2～3割減少している。	
やや悪くなっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	取引先の様子	・材料シートの仕入先に工場の稼働状況を聞くと、前年と比べて低調であるとの回答が多い。食品メーカー用の段ボール箱の販売状況は、特に良くないようである。当社の稼働状況も良くない。
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・原材料価格の値上がり、不安要素である。値上げを見越した売り惜しみもあると聞いており、材料調達の問題となりそうである。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・徐々に回復傾向も見られたが、5月に入ってから受注量、販売量共に10%ほど減少している。今の受注状況では、今後も横ばいしないし若干減少する。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・月中旬以降の荷動きは、低調であった前年5月と比べても、更に低調である。一般雑貨などの消費が低調である。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・建設業の客の話では、現場に出ず、事務所内で過ごす職人が増えているとのことである。

		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・自動車販売ディーラーからの資金需要が減少している。3月まではエコカーの売行きが好調であったが、特に5月の売行きが良くない。3月までの売上が入る一方で、最近の販売不振からメーカーからの仕入れ資金需要はなく、その結果資金が余っている。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・名古屋駅前や栄地区のオフィス需要の減少が止まらない。事務所費の圧縮が影響している。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・従来まで比較的安定していた受注が、先月ごろから激減したという取引先が多い。
	悪くなっている	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年からの減税措置の終了と高炉メーカーによる原材料価格の値上げの影響により、完全に様子見の状況になり、材料の手配は進んでいない。今年度に入って少し持ち直した感があったのに、前年の最悪期と比べればまだ良いとはいえ、直近の仕事も少ない。物量は前月よりも2割ほど減っている。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格、販売量共に、悪化している。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の設備投資は、4、5月と連続して少なく、売上は減少している。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・急な売却や現金化の要請がある。
		公認会計士	それ以外	・顧問先企業の業績が悪化しており、金融機関への返済猶予依頼が増加している。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・大型案件が終了した後、次の案件の見込みもない。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・客の研究開発ニーズは以前よりも広い範囲で発生するようになっており、技術者派遣へのニーズも増えている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・大手商社やメーカーなど海外ビジネスとのつながりが密接な業種では、人材を増員する動きが出始めている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・企業からの求人数は、前年同月比140%と増加傾向にある。受注数も、回復傾向にある。業務委託などの分野も、売上は拡大しており、若干ながら回復傾向にある。ただし、業界内の競争激化によって、単価は下落の一途である。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求職者数は減少傾向にある一方で、就職件数は増加している。
		職業安定所（職員）	それ以外	・有効求人倍率は、若干上昇傾向にある。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・新規求人数は、全国でも名古屋支社でも、前年同月比で100%を大きく上回ってきている。この傾向は、年明けから続いている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・有効求人倍率は、ここ数か月間横ばいとなっている。派遣需要はまだまだ少なく、数少ない求人に対して、想定を大幅に超える応募がある。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数の前年同月比は、引き続き150%以上で推移している。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・派遣先企業から単価の引き下げを依頼され、やむなく条件に応じるケースも多く、収益率はかなり悪化している。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・製造業の生産は若干持ち直しているが、雇用に関しては慎重であり、求人数は相変わらず少ない。流通関連でも、消費が伸び悩んでいるため、求人は低調である。	
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・求人数はほぼ横ばいで推移しており、低調である。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数の前年同月比は4か月連続のマイナスであり、改善傾向と言える材料もある。しかし、新規求人数及び有効求人倍率は前月よりも低下しており、はっきり上向きと言える状況にはなっていない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、年明けにはわずかながら上向きかけたが、このところは2か月連続で前月を下回っており、厳しい状況に変わりはない。就職者数は増加してきているが、正社員と比べてパートが占める比率が高い。良い方向へ向かっているとは思えない。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業を中心に、求人数はまだ増えていない。
	学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・引き続き、厳しい求人状況が続いている。
やや悪くなっている	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・例年ゴールデンウィーク中の派遣需要は少ないが、ゴールデンウィークが明けても法人利用はあまり多くなっていない。
	求人情報誌製作会社（企画担当）	求人数の動き	・1～3月に比べて、求人はやや低調になっている。
	新聞社〔求人広告〕 （営業担当）	求人数の動き	・新聞の求人広告量は、4月からまた減少傾向になり、5月もその傾向は変わっていない。
悪くなっている	-	-	-